

業界トピックス**【製造業】**

- ・客先の設備投資に影響を受けるため、今後の景気回復に期待(機械器具メンテナンス)
- ・設備投資の減少(溶接機製造)
- ・不況が長い間続いているため、息切れ寸前。資金繰りが苦しい(容器、弱電部品製造)
- ・客先から支払いを延ばしてほしいとの要請を受けている(環境関連商品製造)
- ・とにかく全てダメ(板金加工)
- ・北米、南米、ロシア、アジアの売上が戻ってきたが、ヨーロッパが全くない(電子デバイス製造)
- ・得意先の設備投資意欲が末端にまで広がってくる状況にない(プラスチック成形)
- ・工場の地方移転、海外移転による販売先の減少と販売価格の低下(射出成形機製造)
- ・材料費の値上がり(パン製造)
- ・引き合いは多いが、受注に結びつかない(電子部品製造、産業用設備製造)
- ・1月～4月に比べて5月から全体的に冷え込んできている(制御盤組立)

【建設業】

- ・従業員を増やしたいが、仕事が入らない(とび・塗装業)
- ・大企業は好転しているようだが、個人消費に直接反映されていないため、不調が続いている(管工事・水道設備)
- ・中小の建設業の景気感は全くよくなっていない(とび・解体工事)
- ・消費税増に伴う設備投資の駆け込み需要がある(電気工事)
- ・アベノミクスに個人消費者は消費税増税の予兆と判断しており、好転とは感じられない。企業も好況はもうこないと判断しており、生き残りの対策が必要(電気工事)
- ・消費税増税前の駆け込み需要により売上は増加しているが、増税後の冷え込み対策に不安がある(リフォーム・外構)
- ・上場企業の設備投資あり(電気工事)
- ・新聞、テレビ等で株高、円レートの変動など言われているが、全体的に明るいムードにはなっていない。ペーパーのみの好景気には不安も感じる(建築工事)
- ・仕事は増えているが、人手不足(とび・外構工事)
- ・特に今年の状況がよいとは思わないが、昨年、一昨年に比べると、若干期待が持てる状況(住宅リフォーム)

【小売・卸売業】

- ・大型店舗の進出(魚介類卸売)
- ・円レートの変動に輸入財の価格が追いついていない。好況感や駆け込み需要はない(建材卸売)
- ・円安が気になる(輸入食品卸売)
- ・円安に動いたため、輸入メインの弊社でコスト上昇したものの、全般的に売上が上向いてきているため、収益も上向き予想です(化粧品容器輸入販売)
- ・入札、見積り単価の競争激化および受注のための宣伝費が増加(家電品小売)
- ・自動車販売が3月末からかなり減少(自動車販売・修理)
- ・家電品売れず、地デジ対策も終わってしまい、何もなし(家電販売)
- ・販売価格を低下させた商品は良好だが、全体的に収益増にはつながらない(酒類・タバコ・食料品販売)
- ・この半年で直材、間材ともに値上がりしている。販売価格を値上げしたいが、消費低迷の中で様子を見ている(鶏肉加工販売)
- ・余裕がない日々が続いているので、来店者数が減少している(陶芸・雑貨販売)
- ・低価格のものには敏感に反応している傾向がある(食品スーパー)
- ・競合店の出店が多い(食品スーパー)
- ・アベノミクスは大企業だけで、中小企業はまだまだ実感としてありません。消費者も必要なものしか購入しないので、売上上昇は期待できない(眼鏡・コンタクト販売)
- ・個人消費の低迷(家電販売)
- ・ネットからの受注が増加している(コンピュータシステム販売)

【飲食・サービス業】

- ・仕入価格の上昇。どこまで上がるかわからない(飲食店)
- ・とにかく何でも安く手に入るなので、それが当たり前の感覚になっているような気がする(飲食店)
- ・アベノミクスなんかない。中小企業にとっては景気がいいなんて事はない。消費税を上げたら世の中おかしくなるので、あげる必要はない(理美容)
- ・最小限の発注で、新規の顧客が少ない(看板業)
- ・顧客としては不動産、住宅関連が消費税増の関係でこの時期は少し上向いている。反面、円安の影響で紙の値上げ基調が強くと、収益の低下が見込まれる。新規販路開拓が急務(広告代理店)
- ・なんとなくよく感じる(不用品回収)
- ・消費者の心理的ゆとりが、今期の業績がよいことと関係していると思われる(服飾リフォーム)
- ・消費者の傾向として、お金はあるけど使わない状況(自動車修理・板金塗装)
- ・お客の数が少なくなった(不動産)